

新型コロナワクチンの疑問に お答えします

(厚生労働省新型コロナワクチンQ&Aより)

Q & A



Q 新型コロナワクチンにはどのような効果がありますか？

A 日本で接種されている新型コロナワクチンはいずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。

Q 変異株の新型コロナウイルスにも効果がありますか？

A ウイルスは絶えず変化を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるのかについても、確認が進められています。

Q 妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することはできますか？

A 妊娠中・授乳中・妊娠を計画中の方も、ワクチンを接種することができます。日本で承認されているワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。妊娠中の時期を問わず接種をお勧めします。

Q ワクチンを接種した後もマスクは必要ですか？

A ワクチンを接種することで、接種した人の発症を予防する効果だけでなく、感染を予防する効果も報告されています。しかし、その効果は100%ではないため、引き続き感染症対策をお願いします。

問合せ 健康管理課 (2階) ☎ (20) 1574 FAX (20) 1600

市長が行く

ワクチン接種率80%



茂原市長 田中豊彦

長生郡市一体となって行ってきましたワクチン接種も、9月、10月に予定した集団接種の甲斐もあって、このまま順調にいけば想定していた11月いっぱいまではかからず、ほぼ10月末から11月初めには、国が示している2回目の接種率80%が見えてきました。

80%という数字は、コロナの抗体を持った人が80%出現すれば、コロナにほぼ勝るといわれている数字で、欧米では70%の壁があり、なかなか80%まで接種率を上げることは難しいと言われていきます。今のところまだはつきりとしたことは言えませんが、この茂原市を含む長生地域においては、ほぼ80%の接種を終えることができるということに、ひとまず安堵するともに、ご尽力いただいた皆

さんに改めて感謝申し上げます。

ただ、前にも書いたかと思いますが、ウイルスは常に変化しているため、次々と新しい変異ウイルスが出現します。2回の接種を終えたからと言って安心できる状況には至っておりません。現にシンガポールでは、

81%の国民が接種を終えているにもかかわらず、さらなる感染拡大が起きているようです。たとえ100%の国民がワクチン接種を終えたとしても、おそらくこのコロナに打ち勝つことになるとは思えません。ただ、ワクチン接種をすることにより、仮にウイルスに感染したとしても、軽症で済むことが期待されているため、進めているような状況です。今求められているのは、治療薬の早期開発によ

る患者への投与です。まだまだこれだという薬が開発されていませんが、もう少しのところまできているように思えます。世界中で待ち望んでいる薬が一日も早くできることを願ってやみません。

もうしばらくはコロナとの闘いは続きそうです。10月からはインフルエンザのワクチン接種も始まり、今まで以上にコロナかインフルエンザかはたまた普通の風邪かで頭を悩ませることになりそうです。コロナに注意しながら医療に携わる関係者の皆様のご苦勞が推察されます。

暗い暗い日々の中ですが、苦しい中でも前を向き、毎日の生活をもう一度見つめ直す機会にしていきたいものです。「明けない夜はない」という言葉を信じて。

お知らせ

市では、広報紙の送付を希望される方に無料で郵送しています。
問合せ 秘書広報課(3階) ☎ (20) 1512 FAX (20) 1601